

(様式第4号)

真田地区有線放送電話審議会 会議概要

1	審議会名	上田市真田地区有線放送電話審議会
2	日 時	平成26年9月29日(月) 午後7時から午後8時15分まで
3	会 場	真田地域自治センター 3階 301会議室
4	出席者	清水会長、横沢副会長、神林委員、高寺委員、塚田委員、中村委員、鳴澤委員、堀内委員、松井委員、宮入委員、山口委員 【欠席委員】下条委員、竹内委員、
5	市側出席者	高橋真田地域自治センター長、藤沢地域振興課長、清水有線放送係長、村本主任
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年9月30日

協 議 事 項 等

- 1 開 会 (横沢副会長)
- 2 会長あいさつ (清水会長)
- 3 真田地域自治センター長あいさつ (高橋センター長)
- 4 協議事項 (進行 清水会長)
 - (1) 真田地区有線放送電話事業のあり方について
伊那市・富士見町の視察について (感想等)
 - (委員) 伊那市は進んでいる。伊那市の加入促進はチラシや広告で宣伝もすごい。真田ももっと入ってもらえるように自治会の会合等利用して説明してはどうか。PRの方法を考えていくべき。
 - ・南木曾村の災害時に防災放送が流れたそうだが、大雨のときは聞こえないとのこと。宅内放送のほうが聞こえていい。
 - ・中学生がお金がなくて家に「迎えに来て」と連絡する手段に有線電話は必要。
 - ・有線放送はリアルタイムの情報が流れていいと思う。(熊の目撃情報など)
 - ・富士見町の決断。潔さはすごい。交換機が今後入手困難になることも考えて真田も早期に決断が必要。
 - ・子どもが独立し家建てたが、有線は必要ないと言って入ってくれなかった。理由はお金がかかることと通信手段が多様化していること。若い人にはPRしても難しいと思う。これから増やしていくのは難しいと思う。
 - ・スピーカーだけでもいいのではないか。
 - ・富士見町の連絡放送のみは淋しい感じがした。
 - ・伊那市は加入料1万円であった、加入料をもっと下げるなど工夫が必要。2箇所とも特化したものをしっかりと考えている施設で、大変参考になった。
 - ・2ヶ所とも加入者数が多く経営もしっかりしている。方向付けを今回決めていければ、いいと思う。別所線は市から、国からお金がでている。ローカル電車をなくすわけにはいけないということで、いろいろしている。一般の生活圏の人が急に増えるわけではないが、観光客のツアーの人は運賃半額でということで行っている。運賃安くして利用者数をしっかり増やそうという活動をしている。有線でも加入料を下げ若い人が入るようにしていくことも大事。
 - (事務局) 伊那市は専門農協でやっている。富士見町は加入者が減ってきて、通信をやめて告知だけは残すという答申をうけて、放送を残した。色々な形の中で、各地域でいろいろな考え方があると思う。

平成 25 年度決算報告及び今後の推移について・・・資料 1

設備更新に係る資料について・・・資料 2

(会長) この件に関してご質問等ありますでしょうか。5 年は、このままでもなんとか黒字経営ですが、6 年後からは赤字となるということ。また、途中で大きな出費がなければということでの試算だということですが、交換機は更新できないということもあるし。難しい表なので説明してもらいながら方向性を決めていきたいなと思っている。I は機械そっくりやりかえると 4 億円かかる。機械入替えて、告知だけを行う の 1.1 億円。今のケーブルの線を残して、告知だけをやっていく方法が となるが。積立金を利用してある程度このままでいけるが。ただ、交換機は生産してないし、交換できない。いつまで機器が持つかはわからない。それは覚悟しておいたほうがいい。機器がだめになったときにすぐに取り換える方法を考えておくか、富士見町のように今すぐ決断して変えていくか。積立もあるけれど。撤去費用も 7000 万かかる。

脱退した場合、加入金は返さないでいいんだよね。

(事務局) 加入金は返さない。伊那市のように加入金を下げるということも事務局も考えるところがある。横尾区のように全部の地区のお知らせを有線で行っているが、あらたに入ってきた世帯の人が有線を入れたいと相談に来たけれど加入金がかかると聞いて躊躇してしまった例もある。加入金を減らして、加入促進をとということも審議会で出れば、今後の可能性としてあるかなと思う。

(会長) 加入金は、いままでの施設維持のためか。

(事務局) 投資的財源という事で、去年は 2 菅平局のエアコン工事にあてている。

(会長) 光ケーブルってというのは、くまなく入っているのか。昔は幹線しか入っていなかったけれど。

(委員) 今現在、各家まで光でいっているのは菅平のみ。真田地区は光でいって、その先、各家まで同軸となっているが、今後各家まで光にする計画。

(委員) いずれにしてもそうしなければ使えないということか。

(委員) 今の同軸でも、 の内容では、テレビのサービスと同じ片方向のサービスなので、各家まで光でなくても大丈夫。 については、U C V も電話サービス検討中なので、真田地区の協議でということになっていく。I P 電話も 0 5 0 を使う域内だけの電話、0 A B J と呼んでいる、N T T の固定電話を I P に変えるということも可能です。この場合は、0 2 6 8 で始まる番号が I P にそのまま切り替わって、通話料が安くなり、域内は追加料金がかからないで通話できる。この場合は、各家まで光にしてからでないといけない。そんな制限がある。

(センター長) おさらいさせてほしい。決算の報告、25 年度の決算は 1000 万の黒字で企業とすれば、優良企業です。ただ、平成 32 年までの一覧表にあるとおり、今のまま加入者が減り続けて、なおかつ固定費が同じだったと仮定しても、5 年間は黒字でいるが、6 年目からは赤字に転落します。ただそれは、今の機械がもった場合です。我々が一番心配しているのは、通信をする交換機(心臓部)が突然壊れた場合です。一定程度の部品のストックはある。一定程度の修理はたぶん可能ですが、23 年もたてば、いつ心臓部がいきなり壊れるかわからない。代替がないので、突然出来なくなってしまうことも想定される。そうなったときにさあ、さあという話になっても困るので、そこらへんを想定しながらですね、将来的な見通しを皆さんに考えていただきたい。要は、騙し騙しやっていけば、機械が頑張ってくれば持ちます。ただし、もったにしても 5 年間はいいけれど、6 年目からは会社としては赤字。その中で、機械が古くなるので、設備の更新、今のままでずっと行くのか、それとも告知放送に特化していくのか。そのタイミング時期を今するのか、騙し騙しやって将来やるのか。そんなことも含めてご意見を申し出ただけだと思います。

(委員) 決断をするなら早いほうがいいだろうと思います。例えば、通信機能はやはり目に見えて困難な状況になってきているので、告知ページング放送って有線のいい所って、ほとんど皆さん通話しているかもしれないけれど、固定電話すらない家も増えているはなしで、富士見町のように告知放送に特化していくとして、今もし決断すると、どのくらいの費用がかかってどのくらいで移行が出来るのかわかるのか。

(事務局) それが一番です。

(委員)費用がかかるってこと。その 番の方法でいくと、どこまでもつのか。

(事務局)メタルのケーブルを使うので、その保守管理が掛ってくる。ページング放送を今までどおりするには、現在は交換機を通して録音しているので、交換機が壊れる前に、一般のNTT回線から有線のパソコンに直接録音して各地域に放送するというのが のシステムになる。そのため、600万で事前に移行させておけば、交換機が壊れた場合でも、放送だけはページング放送も含めてできるというのが 番です。

(委員)以前の審議会でも聞いているけれども、今、黒字で推移しているということは、優良企業なんだから、これを何とか引っ張って、加入者を減らさない努力をして、なんとか60%くらいにする方向で、5,6年経てば赤字になるとはいうけれど、それまでは何とかやって行く方向で、私としては 番の事務局から説明あったようになるべく安く、最悪の場合にはそういう方向で、告知放送システムだけになっても仕方ないかなと思う。、については、UCVを使うということだけれども、UCVに加入していない人もいる。企業としてやっているから、企業がだめになる場合もある。そういうことも無きにしも非ずですよ。そうなったときにどうなるのかなと考えたら、町の有線とかは昔からの歴史の或るものだから、その辺をしっかりと公共的、半公共的なものでやっていって、最後は告知だけになっても続けられればその方がいいのではないかなと思う。これでまた、UCVに加入してなおさら、別に加入費が取られると思うと、どんどん加入者が減ってしまうと思う。

(委員)私もそう思う。UCVは入るのに3万円くらいかかるのか。

(事務局) の表の加入者負担金12万円というのは、新しいシステムを入れるための負担金で、それとは別にUCV未加入のお宅については、UCV加入料がかかるし、ここでいう使用料についても、月々1830円のほかに2000円くらいかかる。

(委員)その部分ですが、上田ケーブルテレビに加入してプラスaって言うわけではないので、告知だけで利用しているという事は想定しているので、プラス2000円がかかるとは思わなくてもいい。

(委員)加入金は取られるんでしょ？

(委員)その部分もお客様からという形ではなく、初期費用のイニシャル、センター装置と合わせての工事費という形でご相談させていただければ、加入者の方にUCVに入らなくてもいいし、月々の料金をUCVが請求するという事もない。告知だけの利用も可能。

(委員)高齢になってくると、だと12万、だと3万8000円、高齢者の人達は、先の見込みがないという理由で辞めてしまうと思うし、その金額はやっぱり負担が大きいと思う。お金がかからないんだったら、かな。高齢者の方が加入多いので、お金がかからない方法がいいと思う。

(会長)他にはどうですか。

(委員)7pの下の段のその後の収益計算だけれど、加入件数は減っていく計算ですよ。告知放送のみだったら、いれてもいいかなと思うお宅も出てくると思う。そのときの料金はどうか。今は、防災に対する意識も高まっているので、緊急放送だけでも聞きたいっていう人が増えた場合は。

(事務局)基本的に放送のみの人から今現在1300円頂いている金額。例えば、加入金はなくすということであれば、当初の費用は、引込み線とスピーカー設置の工事費のみで加入いただける。1300円では、収支取れないので、そのために利益積立金があるので、3pにあるように職員体制も今後収入が減ってくれば、当然企業もそうだが、経費も削減していくことも必要になってくると思う。

(会長)他にはどうですか。今後の予定はどうなっていますか。

(事務局)ここで方向性が決まったところで、事務局の素案、答申の素案というものを次回6回目に、お示しして検討していただく。最終的には、7回目に成案という形でもっていきたい。

(会長)以上のことであります。お金がかかる事はダメで、現行のものをできるだけ持っていきながら、最終的には告知放送に移ってもいいのではないかなという意見が出たが、どうでしょうか。案をもって、できるだけ、交換機には長生きをしていただいて、5年先までは何とかいけそうだし、積立金を活用しながらいければ、最終的には告知だけになったとしても残るといこう

とでいいでしょうか。

(委員) 異議なし

(会長) そんな形の方向付けでいいでしょうか。いい機械が出てきたりすれば、また変わるかもしれないけれど。

また、5年くらい経ったら、同じように検討していただいて、結論出してもらったらどうか。

次回については、素案を示していただいて、検討していただき、答申となる。

その他、意見ありますか。加入者の促進や加入金の問題も含めて、今の現状の中で、壊れても告知で残していこうということで素案をお願いします。

その他

(会長) 次回は。

(事務局) 次回は、年内にもう1回開催したい。日程は正副会長さんと決めたいと思う。暮れに向かって忙しくなると思うが、集まっていたいただければと思う。

5 閉会(横沢副会長)